

ISMS 基本方針

大規模な災害や事故が発生した後においても企業が迅速に業務を再開させるサービス、また、事業を円滑に海外へシフトしていくためのサービスにおいて、クラウド・コンピューティングの技術は不可欠になってきております。

当部門はクラウドを基盤とした、デスクトップ・アズ・ア・サービス (DaaS) として iDEA Desktop Cloud サービスを提供することで柔軟なクライアントサービスの利用を実現し、タブレット型端末を利用した ERP の構築など、利用者個々を考慮した付加価値の高いサービスを提供できることを考えています。

iDEA Desktop Cloud サービスを提供するにあたり、クラウド上を行き交うお客様の個人情報や機密情報の情報セキュリティを確保することは、当部門の社会的責任であり、かつ当部門の存立に関わる重要な課題と認識しています。

iDEA Desktop Cloud サービスの情報セキュリティ確保のためには、技術的な安全対策を講じることはもちろんのこと、従業者一人一人が情報セキュリティへの重要性を認識し、行動することが重要と考えます。

この基本認識をもとに、ここに「ISMS 基本方針」を定め、当部門の情報セキュリティの適切な実現のため指針とします。

1. ISMS の目的

iDEA Desktop Cloud サービスの機密性、可用性、完全性を維持する事を目的とする。

2. 法令等の遵守

情報セキュリティに関する法令や契約事項を遵守する。

3. 情報セキュリティマネジメントシステムの構築

JISQ27001(ISO/IEC27001)に準拠した ISMS を確立及び維持し、継続的に改善する。

4. リスクアセスメントに基づいたセキュリティ対策の実施

リスク受容水準を設定し、また、リスクの受容可能レベルを特定し、体系的なリスクアセスメント及びリスクマネジメントに基づき、適切な管理目的及び管理策を実施する。

5. 教育訓練の実施

ISMS の確実な運用及び情報セキュリティに対する意識向上のため、当部門のすべての従業者に対して定期的に情報セキュリティ教育を実施する。

2013 年 9 月 1 日

イデア・コンサルティング株式会社
デスクトップクラウドサービス部